

授業科目 精神保健福祉援助実習

【担当教員名】 伊東正裕、		対象学年	4	対象学科	社会
		開講時期	前期・後期	必修・選択	選択
		単位数	6	時間数	270（内、現場配属実習180）
<p>&lt;概要&gt;</p> <p>現場体験を通して精神保健福祉士として必要な専門知識・技術並びに関連知識の理解を深め、精神障害者への相談援助及びリハビリテーションに関する資質・能力・技術を習得する。</p>					
<p>&lt;学習目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神障害者の支援に必要な保健・医療・福祉の基礎知識を統合的に理解できる。</li> <li>2. 精神病院・社会復帰施設・保健所・精神保健福祉センター等、実習先に関する事前学習を行い、それぞれの根拠法令、対象者、機能、職員構成等について把握できる。</li> <li>3. 実習目標とそれを達成するための具体的課題・方法を明確化することができる。</li> <li>4. 配属先において精神障害者が置かれている現状を理解し、その生活の実態やニーズについて把握するとともに、職員の役割と援助関係のあり方並びに関係者・機関、社会資源との関わりについて理解することができる。</li> <li>5. 秘密保持や権利擁護等の職業倫理に基づいた行動を実践し、精神保健福祉援助の価値・倫理を具体例を通して理解できる。</li> <li>6. 実習体験をもとに、実践場面における態度・行動を客観的に振り返り、自己の課題を明確化することができる。</li> </ol>					
回数	授業計画又は学習の主題				SBO 番号
1   14	<p>オリエンテーション</p> <p>事前学習 精神保健福祉に関する基本的な理解（1～3）</p> <p>実習先の理解（1～2）</p> <p>見学学習（精神病院・社会復帰施設）</p> <p>個人票作成</p> <p>実習課題の検討と達成課題の確認</p> <p>実習計画書の作成（1～2）</p> <p>実習における心構え・留意点</p>				<p>グループ制にし、各自グループにおいて、担当教員指導の元、学習を進めていきます。個別指導も入ります。</p> <p>担当教員：伊東、（寺尾）</p>
4週	<p>【現場実習】5月から10月</p> <p>配属先 及び 日程は、別途、伝えます。</p>				担当教員による巡回指導を行う。
15   28	<p>事後学習 実習目標の達成度の評価</p> <p>実習内容の振り返り</p> <p>解決すべき自己の課題など</p> <p>精神保健福祉士としての基本的姿勢・技術の学習を深める</p> <p>実習報告会</p>				<p>各自グループにおいて、担当教員指導の元、学習を進めていきます。個別指導も入ります。</p> <p>全体</p>
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書		実習生のためのPSW実習ハンドブック	牧野田恵美子他編集	へるす出版	2002 3150円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
事前・事後学習の出席状況、授業態度、配属実習の実施状況、実習ノート、その他提出物の提出状況等に基づいて総合的に評価する。					